



日本災害情報学会

第23回学会大会プログラム

令和3(2021)年11月27日(土)

会場：オンライン

◎11月27日(土)

9:30-10:55	口頭発表(セッション1)	[Room A および B・C]
11:05-12:05	ディスカッション・セッション(セッション2)	[Room A および B・C・D]
12:50-	会長挨拶	
13:00-14:25	口頭発表(セッション3)	[Room A および B]
14:35-16:00	口頭発表(セッション4)	[Room A および B]
16:10-17:50	口頭発表(セッション5)	[Room A および B]

【参加費・参加方法など】

	正会員(名誉会員・ 賛助・購読会員含む)	学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
大会参加費	2,000円	0円	4,000円	0円

- 参加をご希望される方(座長・発表者・大会参加費の支払いが不要な学生も含まれます)は、以下のURL(STORES)から参加チケットを購入してください。
<https://kst123.stores.jp/>
- 購入後、登録したメールアドレスにチケット(PDF)が届きます。そちらに記載のミーティングURLから入室ください。
- 領収書は後日、学会事務局よりメールにてお送りいたします。
- 予稿集のURLもチケットに記載されています。
- ZOOMのブレイクアウトルーム機能を利用します。

【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- 今年度の学会大会は、Zoomによるオンライン開催になります。参加の際は、Zoomクライアントをご自身のPC等にインストールしてください。
- チケットの購入はなるべく事前に行ってください。購入が確認できない入室者に対しては、個別にご連絡いたします。
- 当日は9:00から入室できます。
- 「ホストがこのミーティングを開始するまで待機しています」「ミーティングのホストが間もなくミーティングへの参加を許可します。もうしばらくお待ちください」などと表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。

- 参加時は、Zoom 上の表示名は次のように設定してください：
 - Zoom ウィンドウの参加者リスト内のご自身の項の [詳細]→[名前の変更] で設定可能です。
 - 表示名は、“氏名@ご所属” にしてください。 例) 災害太郎@情報大学
 - 司会の方は、氏名の前に「司会者」を付けてください。 例) 司会者 災害太郎@情報大学
 - 発表者の方は、氏名の前に発表番号を付けてください。
英字・数字部分は半角・1 桁表示にしてください。 例) A1-1 災害太郎@情報大学
- マイクとカメラが正しく設定されているか確認してください：
 - Zoom ウィンドウのマイクアイコン、カメラアイコン脇の ^ をクリックで、各設定を確認できます。
- 発表時には、司会・発表者以外は、全員マイクをミュートにしてください：
 - Zoom ウィンドウのマイクアイコンをクリックで、ミュートの on/off を切り替えられます。
- 質疑時に発言したい場合、参加者ウィンドウの「手を挙げる」機能で意思表示してください。
 - →司会者から指名されたら、ミュートを解除し、発言を開始してください。
- 発言を終了したら、「手を挙げる」機能を解除し、再びマイクをミュートにしてください。

【口頭発表される方の諸注意】

- 発表は Zoom の画面共有を使ったプレゼンテーションです。発表者についてはビデオ機器等の動作確認をしますので、セッション開始の 10 分前には入室ください。その後、必ず画面共有と音声テストを行ってください。司会より指示します。
- 発表 1 件につき、**10 分発表+5 分質疑**です。各セッションの最後に 10 分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせしますが、念のため、お手元等でも計測をお願いします。
 - 9 分 1 鈴
 - 10 分 2 鈴（発表終了）
 - 15 分 3 鈴（質疑応答終了）
- なお、ディスカッション・セッションでは**5 分発表+10 分質疑**です。
 - **4 分** 1 鈴
 - **5 分** 2 鈴（発表終了）
 - **15 分** 3 鈴（質疑応答終了）
- 質疑応答中は、画面共有のまま（スライドが見える状態）をお願いします。
- 発表者の際は、スライドショーのレーザーポインタ機能をお使いください。
- お困り、緊急時の際は、以下まで連絡をください。
 - h_kobayashi@meiji.ac.jp（明治大学 小林秀行）

【司会の皆様へのお願い】

- 司会の皆様を共同ホストにします。実行委員会メンバーも共同ホストとなり、サポートいたします。
- セッション内で欠席者がいた場合、繰り上げずに 15 分空けてください。なお、前のセッションに欠席者がいるなどして、時間が早く終わっても、次のセッションの開始時間は予定通りで行って下さい。
- 学会大会の実行委員が以下のタイミングでタイムキーパーいたしますが、念のためご自身でも計測をお願いします。
- 司会進行は以下の手順で行ってください。
 - 発表者にスライド共有を促してください
 - 発表者がスライドの共有中、発表者の紹介を手短に行ってください（氏名、所属等）
 - （発表者はスライド画面共有して発表）
 - （大会実行委員会メンバーが終了時間の予告）
 - 質疑応答では「参加者一覧」で「手を挙げている」人を指名してください。
 - 質疑が終わったら発表者に画面共有解除の依頼をしてください。

- お困り、緊急時の際は、以下まで連絡をください。
 - h_kobayashi@meiji.ac.jp (明治大学 小林秀行)

●発表スケジュール（簡易版）

11月27日（土）	Room A			Room B			Room C			Room D		
	発表数	テーマ	座長	発表数	テーマ	座長	発表数	テーマ	座長	発表数	テーマ	座長
セッション1 9:30-10:55	5	災害と時間・空間	本間基寛	5	防災・減災思想	永松伸吾	5	防災教育（I）	上村靖司			
セッション2 11:05-12:05 ディスカッションセッション	4	避難	佐藤翔輔	4	災害対応	佐藤良太	3	防災教育（II）	廣井悠	3	リスク・コミュニケーション	磯打千雅子
セッション3 13:00-14:25	5	社会調査	中谷内一也	5	情報システム	及川康						
セッション4 14:35-16:00	4	風水害	牛山素行	5	自治体	寅屋敷哲也						
セッション5 16:10-17:50	6	情報利用	杉村晃一	6	地域防災	平山修久						

●発表スケジュール（詳細版）

Room A

セッション1 09:30-10:55 〈プレゼンテーション・セッション〉

A1 災害と時間・空間（座長：本間基寛）

A1-1 障害者手帳所持者が災害の時に感じる困難

北村 弥生（長野保健医療大学）

A1-2 気象情報フィルターとピラミッドモデル

竹之内健介（香川大学創造工学部）

A1-3 沿岸部観光地の従業者の津波避難対応の認識

照本 清峰（関西学院大学建築学部建築学科）

A1-4 線状降水帯情報に対する住民の受け止め方に関する調査

本間 基寛（一般財団法人日本気象協会）

A1-5 ナラティブ論の視点に立った防災・減災研究と復旧・復興研究との融合

矢守 克也（京都大学防災研究所）

セッション2 11:05-12:05 〈ディスカッション・セッション〉

A2 避難（座長：佐藤翔輔）

A2-1 津波避難キャスターコメント作成に関する考察 —非報道従事者対象のワークショップから—

福本晋悟（毎日放送総合編成局アナウンスセンター）

近藤 誠司（関西大学社会安全学部）

A2-2 歩行実験と KJ 法による視覚情報に基づく都市空間認識に着目した津波避難行動の構造化

齋藤 悠介（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

大津山堅介（東京大学先端科学技術研究センター）

廣井 悠（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

A2-3 津波避難訓練のデータを用いた「臨時情報」発表時の事前避難分析ツールの開発

杉山 高志 (京都大学防災研究所)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
ト部 兼慎 (GK 京都)
西野 隆博 (R2 メディア・ソリューション)
中村 洋光 (防災科学技術研究所)
土肥 裕史 (文部科学省)

A2-4 災害時の避難所運営に係る課題の多面的解析 一名古屋工業大学内・避難所の例から

土屋 友彦 (名古屋工業大学大学院工学専攻社会工学系プログラム経営システム分野)
渡辺 研司 (名古屋工業大学大学院社会工学専攻)

セッション3 13:00-14:25 (プレゼンテーション・セッション)

A3 社会調査 (座長: 中谷内一也)

A3-1 防災啓発番組の視聴は地震の備え行動につながるのか : ドラマ「パラレル東京」の効果検証

安本 真也 (東京大学大学院学際情報学府)
河井 大介 (東京大学大学院情報学環)
齋藤さやか (東京大学大学院情報学環)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環)

A3-2 災害情報をスマホで受信・確認後にテレビを視聴、或いはテレビの視聴後にスマホを見る人の特性

水野 一成 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)
近藤 勢津子 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)
吉良 文夫 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)

A3-3 新型コロナウイルス禍の飲食業への基礎的影響分析

中島 章雅 (東京大学教養学部理科二類)
沼田 宗純 (東京大学生産技術研究所・大学院情報学環)

A3-4 コロナ禍における流言の実態とリスク特徴認知の関連性

石橋 真帆 (東京大学大学院学際情報学府)
安本 真也 (東京大学大学院学際情報学府)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

A3-5 緊急地震速報の有効性を損なう受信直後の反応

— 2021年9月16日石川県能登地方発表分の住民調査 —

中谷内一也 (同志社大学心理学部心理学科)
畑 敏道 (同志社大学心理学部心理学科)

セッション4 14:35-16:00 (プレゼンテーション・セッション)

A4 風水害 (座長: 牛山素行)

A4-1 風水害における人的被害と家屋被害の経年変化

鈴木 貴斗 (愛知工業大学)
横田 崇 (愛知工業大学地域防災センター 工学部土木工学科)

A4-2 住民属性に焦点をあてた浸水深別被害人口推計の可能性—兵庫県を例として—
川向 肇 (兵庫県立大学 大学院 応用情報科学研究科・情報科学研究科・社会情報科学部)
有馬 昌宏 (兵庫県立大学 大学院 応用情報科学研究科)

A4-3 建物構造と洪水浸水条件に基づく
避難行動分類手法の提案と適用—甲府盆地内 11 市町を対象として—
佐藤 史弥 (山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター)

A4-4 人的被害と家屋被害の関係から見た 2021 年 8 月の大雨
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

セッション5 16:10-17:50 〈プレゼンテーション・セッション〉

A5 情報利用 (座長: 杉村晃一)

A5-1 大雨警報 (土砂災害) の運用実績と課題 —警戒レベル 3 相当情報としてみた場合—
向井 利明 (長野地方気象台)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

A5-2 車両動態データを用いた災害発生 7 2 時間以降の道路復旧指針導出法
佐多 宏太 (トヨタ自動車株式会社 未来創生センター)
浪越 圭一 (トヨタ自動車株式会社 未来創生センター)
井下 大輔 (矢崎総業株式会社 モビリティ事業本部)
倉田 和己 (名古屋大学 減災連携研究センター)
新井 伸夫 (名古屋大学 減災連携研究センター)

A5-3 「冠水情報管理システム」及び「土砂ハザードモニタリングシステム」の実証実験
濱田 俊介 (応用地質株式会社 地震防災事業部 防災・減災技術部)
花田有里絵 (応用地質株式会社 地震防災事業部 防災・減災技術部)
松井 恭 (応用地質株式会社 情報企画本部)

A5-4 ファーストレスポnderによる IoT 技術利用における課題
—2021 年 7 月 26 日の技術評価実験から—
宮崎 康支 (関西学院大学 Intelligent Blockchain+ Innovation Research Center)
尹 喜眞 (関西学院大学大学院総合政策研究科博士課程前期課程)
張 喆雄 (関西学院大学大学院総合政策研究科博士課程前期課程)
田中 健一 (東京大学生産技術研究所 兵庫県広域防災センター)
Yuri TIJERINO (関西学院大学総合政策学部 Intelligent Blockchain+ Innovation Research Center)

A5-5 地デジ放送での鉄道障害情報
エリア限定表示に向けた 携帯電話位置情報を使った情報提供エリアの絞り込み
木戸 崇之 (朝日放送テレビ 報道局)
今井 龍一 (法政大学 デザイン工学部 教授)
松島 敏和 (中央復建コンサルタンツ株式会社 情報システム開発部)
荒木 祐哉 (法政大学大学院 デザイン工学研究科)
野崎 琉加 (法政大学大学院 デザイン工学研究科)

矢野 有希子 (法政大学大学院 デザイン工学研究科)

- A5-6 沿岸部住民における津波・洪水の危険度認知と避難行動意向 ～東日本大震災から 10 年を迎えて
杉村 晃一 (静岡市役所危機管理総室)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

Room B

セッション1 09:30-10:55 (プレゼンテーション・セッション)

B1 防災・減災思想 (座長:永松伸吾)

- B1-1 イーハトヴ火山局探訪記:現代防災社会の「自然」観
高原 耕平 (ひょうご21世紀機構 人と防災未来センター)
- B1-2 川越市での地震・水害防災教育:科学的知識の共有を通じた構成主義的学習観の再構築へ
岩堀 卓弥 (慶應義塾大学 環境情報学部)
日向 恵里名 (慶應義塾大学 政策・メディア研究科)
長田 翔 (慶應義塾大学 政策・メディア研究科)
川崎 彩奈 (慶應義塾大学 政策・メディア研究科)
船田 千紗 (慶應義塾大学 政策・メディア研究科)
大木 聖子 (慶應義塾大学 環境情報学部)
- B1-3 防災・減災における共約不可能性に関する一考察
小林 秀行 (明治大学 情報コミュニケーション学部)
- B1-4 愛知・三重・高知の3県における発災からのタイムライン (Post-Disaster Timelines: PDTs) の比較分析
松原 悠 (京都大学大学院情報学研究科 社会情報学専攻 博士後期課程)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- B1-5 防災における「型」の構築:その戦略と可能性について
永松 伸吾 (防災科学技術研究所)

セッション2 11:05-12:05 (ディスカッション・セッション)

B2 災害対応 (座長:佐藤良太)

- B2-1 防災行動促進のためのナッジ活用に関する予備的検討
植竹 香織 (ポリシーナッジデザイン合同会社)
竹 順哉 ((一社)日本気象予報士会気象×防災稲門会)
- B2-2 リニア中央新幹線開通が首都直下型地震による被害にもたらす影響の SCGE 分析を用いた評価
山田 和樹 (名古屋工業大学大学院工学専攻社会工学系プログラム経営システム分野)
渡辺 研司 (名古屋工業大学大学院社会工学専攻経営システム分野)
- B2-3 大規模災害における自治体庁舎の被災がもたらす業務継続に関する課題の研究
松本慎一郎 (東京大学工学系研究科)

大津山堅介（東京大学 先端科学技術研究センター）

廣井 悠（東京大学工学系研究科）

B2-4 事前復興に資する意思決定支援ツールの総合化と二段階の合意形成の検討

大津山堅介（東京大学先端科学技術研究センター）

廣井 悠（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

小泉 秀樹（東京大学先端科学技術研究センター）

セッション3 13:00-14:25 〈プレゼンテーション・セッション〉

B3 情報システム（座長：及川康）

B3-1 地震時における災害体験の Virtual Reality アプリ DeVA の効果検討

大井 翔（大阪工業大学情報科学部情報メディア学科）

菊池 晶陽（大阪工業大学情報科学部）

松下 智晴（大阪工業大学情報科学部）

福本 孝生（大阪工業大学情報科学部）

後藤 壮史（王寺町立王寺小学校）

B3-2 高齢者施設における BOSS を活用した実証実験

中村 香里（東京大学工学部社会基盤学科）

酒井 章年（社会福祉法人常盤会 特別養護老人ホーム ときわ園）

田村 知之（社会福祉法人常盤会 特別養護老人ホーム ときわ園）

酒井 潤（社会福祉法人常盤会 特別養護老人ホーム ときわ園）

佐々木拓海（東京大学工学部社会基盤学科）

石崎友佳子（東京大学工学部社会基盤学科）

安井あり紗（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻）

沼田 宗純（東京大学生産技術研究所・大学院情報学環）

B3-3 避難情報における「地方自治」の意義に関する考察

富澤 周（東京大学大学院学際情報学府）

B3-4 令和3年8月の大雨に関する意識調査の報告

藁谷峻太郎（株式会社サーベイリサーチセンター）

岩崎 雅宏（株式会社サーベイリサーチセンター）

石川 俊之（株式会社サーベイリサーチセンター）

B3-5 主体的避難のための臨床防災哲学

及川 康（東洋大学理工学部）

セッション4 14:35-16:00 〈プレゼンテーション・セッション〉

B4 自治体（座長：寅屋敷哲也）

B4-1 木更津市を事例とした災害対応の組織別業務の分析

石崎友佳子（東京大学工学部社会基盤学科）

中村 香里（東京大学工学部社会基盤学科）

佐々木拓海 (東京大学工学部社会基盤学科)
市川 恭吾 (東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻)
沼田 宗純 (東京大学生産技術研究所・大学院情報学環)

B4-2 大規模災害における復興需要の官民比率に関する分析
林 万平 (関西国際大学経営学部経営学科)

B4-3 災害廃棄物処理計画策定の災害廃棄物処理に係る有効性
岡山 朋子 (大正大学 地域創生学部 地域創生学科)
高田 光康 (東和テクノロジー)

B4-4 ISUT の迅速かつ確実な初動対応確立に向けた取り組み
金田 成元 (防災科学技術研究所 総合防災情報センター)
吉森 和城 (防災科学技術研究所 総合防災情報センター)
取出 新吾 (防災科学技術研究所 総合防災情報センター)
臼田裕一郎 (防災科学技術研究所 総合防災情報センター)

B4-5 北海道胆振東部地震に関する復興報道の変遷—地方紙の内容分析から—
定池 祐季 (東北大学災害科学国際研究所)

セッション5 16:10-17:50 〈プレゼンテーション・セッション〉

B5 地域防災 (座長: 平山修久)

B5-1 中小企業の地域防災への貢献の可能性に関する調査
濱内 洋孝 (名古屋都市センター)
新井 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)

B5-2 大正12(1923)年関東大震災での東京における寺院移転の実態と現状
武村 雅之 (名古屋大学減災連携研究センター)

B5-3 日本における避難所課題に占める空間配置問題に関する事例研究
有吉 恭子 (関西大学大学院社会安全研究科)
越山 健治 (関西大学 教授)

B5-4 災害時における学校内での安否確認手法の検討
上久保祐志 (熊本高等専門学校 企画運営部)
森下 功啓 (熊本高等専門学校助教 建築社会デザイン工学科)
小野川勇二 (熊本高等専門学校 学務課)
井上 真奈 (熊本高等専門学校 総務課 総務係)
田中 禎一 (熊本高等専門学校 企画運営部)
小林 幸人 (熊本高等専門学校 企画運営部)

B5-5 市民主体の避難所運営体制構築の取り組み (行政から市民主体の避難所運営へ)
吉川 文隆 (国土舘大学 防災・救急救助総合研究所)
山崎 登 (国土舘大学 防災・救急救助総合研究所)

生亀 勝 (草加市 市長室危機管理課)

関口 京平 (草加市 市長室危機管理課)

B5-6 近年の建物火災に対する消防水利に関する分析

平山 修久 (名古屋大学減災連携研究センター)

木全 誠一 (名古屋大学災害対策室)

細川 直史 (総務省消防庁消防大学校)

Room C

セッション1 09:30-10:55 <プレゼンテーション・セッション>

C1 防災教育 (I) (座長: 上村靖司)

C1-1 小学校での防災教育実践における対話的評価手法に関する研究

岡田 夏美 (京都大学防災研究所)

矢守 克也 (京都大学防災研究所)

C1-2 活動理論に見るネパール教員の防災教育〈活動〉の変化

中野 元太 (京都大学防災研究所一)

矢守 克也 (京都大学防災研究所)

C1-3 マイ・シナリオの作成を通じた南海トラフ地震の「臨時情報」に関する防災教育の分析

杉山 高志 (京都大学防災研究所)

矢守 克也 (京都大学防災研究所)

C1-4 水害時要配慮者支援のためのサポート・タイムラインの活用方法の一考察

—東京都大田区福祉部局の事例より—

有友 春樹 (河川情報センター流域情報事業部)

鮎川 一史 (河川情報センター流域情報事業部)

森野 香織 (河川情報センター流域情報事業部)

向井 正大 (河川情報センター流域情報事業部)

C1-5 災害時の対応力を涵養する「一枚の写真」WS手法

上村 靖司 (長岡技術科学大学 機械創造工学専攻)

永田 力也 (長岡技術科学大学 技術開発センター)

吉澤 厚文 (長岡技術科学大学 技術開発センター)

杉原 幸信 (長岡技術科学大学 機械創造工学専攻)

セッション2 11:05-12:05 <ディスカッション・セッション>

C2 防災教育 (II) (座長: 廣井悠)

C2-1 学校防災教育における手紙による伝播効果に関する研究

石原 凌河 (龍谷大学政策学部政策学科)

北村 泉帆 (株式会社 SIGEL)

C2-2 中高生が主体的な初動を取るために ー避難訓練・地震後のアンケートから見えた問題点ー
新垣 愛 (日本大学第三中学校・高等学校)
永井 正洋 (東京都立大学 大学教育センター)

C2-3 防災・減災教育と SDGs・ESD に関する考察 伊勢市立伊勢宮川中学校における事例をもとに
河田 慈人 (ひょうご21世紀機構 人と防災未来センター)
竹之内健介 (香川大学創造工学部)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)

Room D

セッション2 11:05-12:05 <ディスカッション・セッション>

D2 リスク・コミュニケーション (座長:磯打千雅子)

D2-1 想定震災時における市民の対応能力と医療施設配置に関するシミュレーション研究
竹中 大貴 (東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻)
大津山堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻)

D2-2 ユーモアを交えたリスクコミュニケーションにおける有効性に関する考察
小島 彰吾 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)

D2-3 風水害時における自治体の情報発信について

災害時のコミュニケーションの視点からの問題点の考察

佐藤 篤至 (名古屋工業大学大学院工学専攻社会工学系プログラム経営システム分野)
渡辺 研司 (名古屋工業大学大学院社会工学専攻経営システム分野)